



ひいといだっけの合衆国

▲ステージで披露された蕪生太鼓の演奏

10月13日、今年で15回目となる香北いきいき合衆国が、健康センターセレネの周辺施設で開催されました。

芝生広場では、もち投げや食品・農産物の販売などが行われ、たくさんの人でにぎわいました。ステージでは、アンパンマンショー、フラダンスショーや、蕪生太鼓・香北中学校吹奏楽部・ティーバズの演奏が行われ、来場者を楽しませていました。



山高書道部 案内板作成

▲案内板を書き上げる山田高校の書道部員

10月19日、轟の滝周辺の案内板を山田高校書道部が書き上げ、10月30日、香北町猪野々地区の3カ所に設置されました。

案内板の作成は、猪野々活性化委員会が依頼したもので、同委員が吉井勇記念館の木村久夫の特別展で、同書道部の作品を見たのがきっかけ。同委員長西川史郎さんは「紅葉のシーズンに向けて、来訪者が道に迷わないように設置しました。猪野々地区の観光資源の活性化につながることを期待しています」と話していました。

平山でアートイベント

10月26日、ほっと平山（土佐山田町平山）で、地域交流イベントin香美市平山ノートが開催されました。

この催しは、県内各地で行われている高知県芸術祭の一つで、県が主催。

映画シアターや子ども向けのアート教室が開催され、シカドッグや、窯焼きピザなどの食べ物の販売もありました。

ロバの音楽座によるワークショップでは、身近な素材を用いて楽器を作り、たくさんの親子が参加しました。



▲ビー玉に絵の具を塗り、転がして描く子どもたち

ファミリースポーツ フェスティバル開催



▲親子ゲームを楽しむ参加者

11月9日、土佐山田スタジアムで第6回香美市ファミリースポーツフェスティバルがスポーツ推進委員会の主催で開催されました。

この催しでは、誰もが気軽に参加できる体験型スポーツイベントとして、フライングディスク、グラウンド・ゴルフや、障害者スポーツも取り入れた10種目程度が実施されました。親子連れの参加も多くありました。

マーチングで 火の用心

11月9日から15日までの秋の全国火災予防運動に先立ち、11月8日、市役所駐車場で、土佐山田幼稚園の園児がマーチングで、火災予防を呼びかけました。

園児が使用した鼓笛隊セットは今回新たに宝くじの助成金で整備したもので、初めてのお披露目の場となりました。



▲マスゲームを披露する園児

によきによき しいたけできた

10月15日から28日にかけて、大宮小学校3年生が、菌床しいたけの栽培・収穫を体験しました。

講師の平山貴雄さん（香北町菌床生産組合）から菌床しいたけについて話を聞き、児童たちは、同組合から提供された菌床ブロックを水で湿らせて、校内に設置した園芸ハウスに置き、定期的に水やりを行いました。収穫日に菌床しいたけの観察を行なった後、子どもたちは収穫を楽しみました。



▲育てたしいたけを観察する児童



▲左から市長、受賞者の小松さん、市議会議員

11月3日、第7回香美市市民賞表彰式が香美市役所で開催されました。同賞は、産業・教育・文化・政治・福祉などの分野で活躍、貢献のあった方を表彰するものです。今年は、1名が受賞されました。

受賞されたのは、土佐山田町百石町の小松健彦さん（70歳）で、昭和55年に土佐山田町百石町に小松内科を開業され、現在まで、地域医療に従事されたほか、校医・園医を長年にわたり務められ、保健行政に貢献されました。

四電 街路灯4基寄贈

10月25日、四国電力株式会社山田営業所から香美市に、街路灯4基の目録が手渡されました。

同社は毎年10月に行うよんでんグループふれあい旬間の事業の一つとして、自治体へ街路灯の寄贈を行っており、平成4年から現在まで市内へ427基の寄贈を受けています。街路灯は設置を希望する自治会の中から、選ばれた地区へ設置されました。



▲市長に目録を渡す佐野喬四国電力山田営業所長（写真右）